

入田小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
  - ・書く場面、他者の意見を取り入れ自分の考えを深める場面
  - ・学びを振り返る場面の工夫
  - ・発問の工夫
- 自主学習ノートの工夫による家庭学習の充実

学力向上推進員  
1年担任

委員 校長  
2年担任  
5年担任  
学級担任補助  
特別支援学級副主任

教頭 特別支援学級担任  
3年担任  
6年担任  
特別支援学級担任  
養護教諭

校長

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書き、四則計算等の基礎的な力は概ね定着してきている。 ●個人差が大きく、基礎的事項が十分身につけていない児童もいる。 ●文章を正確に読み取る力や書く力が弱い児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ様々な学習場面で活かすことができる。 ・幅広い知識を自ら求める態度をもっている。	・朝のスタディタイムを有効に活用し、漢字読解、作文、計算、算数の応用問題や文章問題等の力をつけるための学習に継続して取り組ませる。 ・優れた日記や作文を読んだり、掲示をしたりして、児童に紹介をする。また作文読本に投稿する。 ・デジタル教材を活用し、基礎的・基本的な知識・技能が定着させる。	・スタディタイムや宿題に、長文などの発展的な問題に取り組みさせる。 ・日記のテーマを決めたり、行事や校外学習等のテーマを決めて、日記を書かせる。 ・ドリル学習アプリを週末やスタディタイムに活用する。	・スタディタイムや家庭学習などで問題に取り組む回数を多く確保できた。そのため、本年度も基礎的・基本的な学力が身についた。 ・日記のテーマを決めて様々な内容で書いたり発表したりすることで、文章を書く力がついた。	・思考を深めたり、発展的な学習活動を進めたりできるように指導する。 ・文章を正確に読み取る力や書く力の指導を続ける。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達の意見をしっかりと聞くことができる児童が多い。また、自分の考えを積極的に発表できる児童が増えてきている。 ●場に応じて臨機応変に自分の考えを表現する力はまだ十分でない。 ●いくつかの資料から情報を選択し、筋道を立てて文章で表現したり、解決したりすることに課題がある。	・自分の考えを、根拠や理由を明らかにしながら表現することができる。 ・他者の意見を取り入れながら、根拠をもとに自分の考えを深めることができる。 ・資料をもとに根拠を明らかにし、文章表現したり、資料から情報をもとに意見を述べたり文章で表現したりする。 ・考えを深めたことを発表・掲示するなど、発信する。	・ホワイトボードや付箋、ノート、タブレット等を用いて、自分の思いを述べたり、考えを書いたりする場面を増やす。 ・他者の考えを踏まえ、自分の考えを付け加えて話し合う活動を設定する。 ・深い学びにつなげるための発問を工夫する。 ・振り返りの時間を確保し、視点を提示して感想や他者の考えを共有する活動を、積極的に取り入れる。	・自分の考えをホワイトボードやメタモジを使って提示し、友達と比べる機会を多くする。 ・十分に他者の考えに付け加えることができていないので、話し合い活動を積極的に取り入れる。 ・継続して行う。 ・教材により振り返りの時間が確保できていないので、他者と共有する時間を必ず設ける。	・ホワイトボードやメタモジを活用し友達と意見を比べる機会をとれた。 ・ふり返りの時間は概ねとれたが、他者の意見を取り入れた思考が不十分だった。 ・資料をもとに文章を作ることはできたが、理解した上でまとめ、意見をまとめたり述べたりはできていない。	・自分の考えを表現するときに、知識・経験や資料を元に根拠を示せるように指導を続ける。 ・振り返りまとめの時間は必ず確保し、共有する。 ・根拠を元に、意見を交わし、自分の考えを深めるように指導していく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に、まじめに取り組むことができる。また、家庭学習にも主体的に取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことに課題がある。 ●不得意な学習内容に対して、計画的に取り組むことに課題がある。	・決められた学習や自主学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題の解決に生かすことができる。 ・既習の学習を生かし、他教科の学習や生活を関連づけることができる。	・「とくしま授業技術の基礎基本」にある、ノート指導を徹底するとともに、ノートには、自分の考えや気になること、先生の話で聞いたことなどを書く欄を設ける。 ・自主学習のコーナーを設け、自主学習の題材を具体的に示したり、優れたノートを紹介したりして意欲を高める。 ・各教科の関連事項を積極的に活用する。	・上学年は、ノートに自分の考えや先生の話を書き込める欄を作り、下学年は、ワークシートを活用する。 ・他者の自主学習を見て参考したり、意欲をもって学習に取り組んでいる児童もいるので継続して行う。	・決められた学習や自主学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題の解決に生かすことができる。 ・既習の学習を生かし、他教科の学習や生活を関連づけることができつつある。	・授業中のつまづきに気づかせたり、テーマを例示したりするなど、児童が取り組みやすい工夫を行う。 ・自分の学習状況に合わせて、自らの課題解決に計画的に取り組めるように指導を続ける。 ・各教科の様々な学習内容を関連させながら活用できる単元や場を設定する。

令和5年度 学力向上ロードマップ

